

3月号は春を迎える季節らしく知花朝美先生の花と蝶の写真が表紙を飾りました。

報告では宮城信雄会長による都道府県医師会長協議会の報告のなかで、診療行為に係る死因究明制度についての質問に対する回答が興味を惹きました。医療安全調査委員会の制度に対する日本医師会の見解とその理由が述べられています。協議会の中でも議論が白熱したことがよくわかりました。

一方、沖縄県医師会医学会総会の報告では「医療崩壊」の著者、虎の門病院の小松秀樹先生が「医療事故調査制度の設立にむけて」との題で行われた特別講演の報告があります。小松先生はこの制度に対し反対されており、稲田隆司理事が印象記で簡潔にまとめられています。私達の仕事に関係することだけにこの制度に対しよく考えていかなければなりません。シンポジウム「療養病床の削減について」は様々な立場のシンポジストの講演、質疑応答が報告されました。その中で急性期病院の問題点が述べられており、私の職場は急性期病院ですので勉強になりました。

在宅療養支援診療所の講演会の報告ではこの制度がわかりやすくまとめられていました。本県にはまだ診療所数が少ないことが問題点であると報告されています。

マスコミとの懇談会は「食育」についてでした。子供でも肥満が増加しておりこの件の重要

性と対策が議論されています。男性の平均年齢が全国25位と前回より下がらずにほっとしたばかりですが、再び上位になるためにも次世代を含めた食生活の改善が必要と思いました。

生涯教育では翔南病院循環器科大城力先生により、不整脈に対する根治療法：高周波カテテルアブレーション発作性上室性頻拍および心室頻拍の適応と成績についてわかりやすく解説されています。

プライマリ・ケアコーナーで豊見城中央病院整形外科永山盛隆先生により見落とし易い股関節周囲の外傷・疾患について解説されており救急当直をする私にも勉強になりました。

リレー随筆ではアメカル耳鼻科クリニックの真栄田宗慶先生による耳垢についての話でした。高脂血症・肥満とも関係があるとのことで面白く読ませていただきました。

随筆では長嶺胃腸科内科外科医院の長嶺信夫先生による古文書に見る「聖なる菩提樹」の歴史の後編で、インドより沖縄に菩提樹が贈呈された背景について詳細に解説されています。その由緒ある菩提樹を機会があれば見に行きたいと思いました。

それでは皆様、まだしばらく寒い日が続くと思いますが、お体に気をつけてお過ごしください。

広報委員 上田 真